

研修会報告

平成27年8月7日

文責：輸血検査部門長 山形悟

研修会名「輸血部門実技研修会」

開催日：平成27年8月1日（土）12：00～18：20

会場：仙台医療センター臨床検査科カンファレンス室

参加内訳：会員6名 非会員1名 実務委員5名 講師1名

生涯教育 専門20点

内容

試験管法・カラム法による血液型検査

直接抗グロブリン試験と抗体解離試験（酸解離法）

本研修会は中級から上級者を対象に少人数制で行った。

試験管法による血液型検査では基本手技の再確認、得られた結果に対する正しい解釈、イレギュラーの結果に対しての考えられる要因、適合血の選択について迅速にかつ間違いなく行えるか確認した。カラム法の血液型検査ではカラムの特性、検体分注時の注意事項、反応像の見方、異常反応の原因について確認した。直接抗グロブリン試験においては陽性反応の検体を使用して酸解離法による抗体解離試験、抗体同定における消去法の確認を行った。「可能性の高い抗体」「否定できない抗体」の定義について再確認した。

受講者全員の技術・知識が初心者に指導できるレベルに達していたため、今後も同様の研修会を企画し、指導者の育成、さらには初心者の検査技術のレベルアップにつなげていきたい。